

1. 評価結果概要表

作成日 平成 19年7月25日

【評価実施概要】

事業所番号	0170502074		
法人名	有限会社 エーアステス		
事業所名	グループホーム Myほーむ愛華夢		
所在地	〒004 - 0801 北海道札幌市清田区里塚1条2丁目12番11号 (電話) 011 - 885 - 5501		
評価機関名	社団法人 北海道シルバーサービス振興会		
所在地	〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7 4階		
訪問調査日	平成19年7月6日	評価確定日	平成19年7月25日

【情報提供票より】(平成19年6月6日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 15 年 7 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	6 人
職員数	7 人	常勤 5人, 非常勤 2人, 常勤換算 3人	

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り	
	2 階建て	1 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円		
その他の経費(月額)	・光熱水費20,000円 ・暖房費5,000円(11月~3月)		
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円 有りの場合 償却の有無		有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 400 円
	夕食	450 円	おやつ 150 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(7月6日現在)

利用者人数	6 名	男性 1 名	女性 5 名
要介護 1	1	要介護 2	1
要介護 3	3	要介護 4	1
要介護 5		要支援 2	
年齢	平均 86.3 歳	最低 78 歳	最高 94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	ごう在宅クリニック メンタルケア札幌 美園いとう内科
---------	----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

国道36号線と旧国道間にある住宅地に位置し、2階建て住宅である。居間から見えるホームの畑では、季節の野菜や花が植えられ利用者の楽しみ事の一つになっている。利用者は6人という少人数で、日常の流れはなんら一般家庭と変わらず職員の見守りの中、一人ひとりのペースで自由に生活している。ホーム独自の光プログラムの実践により、外出し太陽の光を浴び安眠と健康維持の支援を行っている。日帰り旅行や一泊温泉旅行等、外出の機会が多い。開設時より、地域密着型サービスを目指し運営しているため、町内会や地域住民との関係も良好で、町内会の行事や老人クラブへの参加等、積極的に取り組んでいる。代表者をはじめ管理者及び職員は、利用者の個々の思いに寄り添いながら、地域と共に生活できる支援を実践している。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 昨年、職員の交代等もあり結果について管理者及び職員間での話し合いや、改善課題や改善計画の作成なども行われていない。評価を日々のケアサービスに生かすまでには至らなかった。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 最初に全職員が自己評価を行い、その後全体会議でその内容を検証し評価をまとめている。評価の意義を、管理者及び職員は理解しているが、それが生かされた取り組みには至っていないので今後期待したい。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は第1回よりスムーズに進行し、現在まで5回開催されている。毎回、会議の議題を明確に設け、多くの参加者から意見、要望等が活発に出される会議となっている。その反映として、認知症についての説明や町内会行事への参加が自然の流れとなっている。今後は、運営推進会議を活用した災害対策等についての話し合いを検討中である。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族とは積極的にかかわりを持つよう努めており、なかなか来訪できない家族にはホーム側からの働きかけを積極的に行うよう取り組み、常に家族の意見、要望、心配事などに耳を傾けている。毎月1回発行されるホーム便りや、手紙、電話連絡などで日常の様子を知らせている。家族は、意見要望を言いやすい雰囲気であり、意見要望についてはその都度希望に添えるよう全体で取り組んでいる。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 開設時より、地域密着型を基本に行ってきたため、地域の認知度も高く住民との関係も良好である。早期より町内会に入り、日帰り旅行や季節の行事などに積極的に参加し、通常の会員と同じ処遇になっている。また、毎年行われる同業者同士による発表会(歌や踊りなど)は、利用者の楽しみごとの一つであり、地域との交流の幅をさらに広げる場となっている。

2. 評価結果（詳細）

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設時より、地域密着型サービスを基本とする理念を作成している。地域の中で信頼され、ふれあえる家を目指した理念を実践されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	代表者をはじめ管理者や職員は、朝のミーティングや会議等で日常的に理念を話し、確認し実践に向け取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	開設時より、地域に根ざしたホームを目指し、実践されている。町内会の日帰り旅行、老人クラブやその他行事へも参加している。また、近隣の小学生の訪問によるピアノの演奏会など、地元の人々との交流が積極的に行われている。地域住民との関係も良好である。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を全職員で行い、サービスの質の向上に努めているが、外部評価の結果をミーティングや会議等で話し合われておらず、具体的な改善計画を立てるには至っていない。		自己評価は、全職員で取り組んではいないので、外部評価で出た改善点などの評価結果を踏まえて、管理者及び職員全体で具体的改善計画を立て、実践につなげる取り組みを期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は2ヶ月に1度開かれ、現在まで5回開催されている。その都度、明確な議題が設定され活発な意見交換や話し合いが行われている。また、評価の取り組み状況についての報告も行い、意見をもらいサービス向上に活かしている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議以外にも、区や市の担当者と積極的に関わりを持つよう努め、ともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>来訪される家族には、その都度日々の暮らしぶりや、身体状況、職員の異動を伝えている。来訪が困難な家族には、毎月発行されるホーム便りや電話、手紙等でホームでの出来事や身体状況等を知らせている。個々の預かり金についても、毎月報告しその内容を確認してもらっている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に意見箱が置かれ、重要事項説明書にも外部へ知らせる窓口の明示がされている。家族等はホームに対し、意見、要望が言いやすい雰囲気であり、その対応も適切に行われている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>代表者をはじめ、管理者や職員は馴染みの職員によるケアの大切さを理解している。職員の異動等における、利用者へのダメージを必要最小限に抑えるよう、利用者や家族等の気持ちに寄り添った配慮を心がけて支援している。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>代表者及び管理者は、職員研修に熱意を持ち段階に応じた外部研修、内部研修を受ける機会を積極的に設けている。その都度、研修報告も行われている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者は、清田区の管理者会議や勉強会等で交流はあるが、具体的に同業者間での直接交流は行われていない。</p>		<p>管理者同士の交流はあるが、他の同業者間との職員同士の交流は行われていないので、他の同業者との交流や連携がなぜ必要なのかをホーム全体で話し合うなどして、早期に交流できる機会を設けるよう期待したい。</p>
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用者及び家族等から意見、要望を聞き、安心と納得が行くよう利用者の様子を十分に観察しながら、徐々に適切なサービスが提供できるよう支援している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は支援する側される側という意識は持たず、共に暮らす家族同士として本人の不安や悲しみ、喜び等を共有し共に支えあう関係を築いている。利用者の得意な裁縫、編み物、習字等を共に楽しみ教えてもらっている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者の生活歴を踏まえた上で、得意な事、出来る事、出来ない事等を見極め、本人の希望に添った支援が行われている。具体的に食事の支度、お茶碗洗い、散歩、外食、畑仕事、花の水やり等が行われている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>管理者及び職員は、家族の来訪時や電話等で、積極的に意見、要望を聞くよう努めている。意見、要望を言いやすい雰囲気である。またその内容が、介護計画に反映されるよう作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画は、毎月1回モニタリングを基に検討会を設け、必要に応じて本人や家族等と話し合い、その都度現状に即した見直しを行い適切な介護計画を作成している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者や家族の状況に応じて、通院や送迎等必要な支援は柔軟に対応している。ホーム全体で外出する機会も多く、日帰り旅行を始め、温泉への一泊旅行等も行われている。24時間健康管理や医療行為が受けられる体制である。ホームでのデイサービスやショートステイは行っていない。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や、家族が希望するかかりつけ医の医療を受けている。また、受診や通院は希望に応じて対応している。協力医療機関による、2週間に1度の訪問診療及び、24時間医療が受けられる体制である。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に、本人と家族等に重度化した場合や終末期のありかたについての説明がされている。また、協力医療機関との話し合いも行われている。ホームとしての方針も書面にて作成されている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は入居者一人ひとりの人柄や違いを把握して、プライドを傷つけない言葉遣いや対応をしている。昼食時の職員の言葉かけや見守りは適切に行われていた。記録等の個人情報に関する物品の管理も適切に行われている。契約書にも、プライバシーについての取り決めが明示されている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の個々の思いや事情を考慮し、常に利用者本位のペースを大切に、希望に添うよう支援している。日々の散歩、畑仕事、裁縫、食事の支度等、職員の都合やペースではなく個々のペースに合わせて行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	ホームで栽培された野菜等も取り入れ、食事時の楽しみ事となっている。調理、盛り付け、片付けも利用者と共に、職員と利用者が同じテーブルを囲んで楽しく食事をしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は、利用者の希望に添って行われている。一週間に2回の入浴を心がけ、入浴できない場合はシャワー浴、清拭等も行われている。デイケア先での入浴も週1回行われている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴や日々の身体状況を念頭に、得意な事、興味のある事を引き出している。食事作りや、畑仕事、裁縫等、利用者の経験や知恵を発揮する場面を作り、日々の生活に生き甲斐が持てるよう支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	職員は、散歩や買い物、外食等日常生活の中でホームに閉じこもらないように利用者一人ひとりの希望に添った外出支援を行っている。また月に1度の真狩村への水汲みや、日帰り旅行、1泊旅行、町内会行事への参加等、遠くに外出する機会も設けている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は施錠していないが、午後9時より午前7時までは防犯上の理由で施錠している。管理者、職員は鍵をかけない事の大切さを理解し、実践している。現在、利用者は職員の見守りの中、自由な暮らしをしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、防災訓練を行っている。そのうち1回はホームで消防署と共に避難訓練を行い、もう1回は職員、利用者全員で防災センターへ出向いての訓練を行っている。しかし、町内会や地域住民への働きかけは行われておらず、協力体制を築くまでには至っていない。		運営推進会議等の機能を活かし、現在行われている防災訓練に加えて、積極的に地域住民の参加、協力が得られるような取り組みが期待される。また、冬場の災害に備えた物品等の準備をしておく事も検討してみはどうか。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立表は、法人内の栄養士によって作成されずべてカロリー計算が行われている。そのため、利用者一人ひとりの摂取カロリーの把握は容易である。また、食事量や水分量は個々の記録に残し、一人ひとりの身体状況に合わせた適切な支援が行われている。糖尿病等の利用者も、入居時より身体状況が改善されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関までの階段には、プランターに植えられた花が綺麗に飾られていた。居間や廊下には、季節の飾り付けや利用者の手作りの品々が多く飾られ、家庭的な雰囲気を大切にしよう工夫されている。ホーム内は窓も大きく明るく、風通しもよく、心地よい空間となっている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、本人の使い慣れた馴染みの家具や、装飾品、手作り品、仏壇等を持ち込み、個々の好みに応じた環境の中で、居心地良く過ごせるよう工夫している。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。